

令和5年度 第2回森町総合教育会議 議事録

1 日 時 令和6年2月22日(木) 午前9時00分～午前10時15分

2 場 所 森町文化会館 第1研修室

3 出席者 森町長 太田 康雄
森町教育委員会
教育長 野口 和英
委 員 村松 昌吾
委 員 早馬 保男
委 員 佐藤 佐和子
委 員 宮崎 智栄

(説明出席者)

学校教育課長	塩澤 由記弥
学校教育課長補佐	土屋 智也乃
学校管理係長	井口 寧了
庶務係長	鈴木 真央
社会教育課長	三澤 由紀子
社会教育課長補佐	磯谷 博俊
健康こども課長	朝比奈 礼子

4 議 事 (1) 令和5年度 森町の教育について
(2) 森町地域クラブ活動の推進について

5 傍聴人 1人

6 議事の概要

学校教育課長 開会

町長

本日は、今年度第2回目の森町総合教育会議にお集まりいただき御礼申し上げます。また、2月11日執行の森町長選挙においては、多くの皆様のご支援をいただき3回目の当選を果たすことができました。引き続きよろしく願います。

3月1日から議会が始まり、新年度の当初予算のご審議をいただく訳だが、令和6年度においても教育の充実、子育て支援の充実に向けて力を尽くしてまいりたいのでよろしく願います。

また閉校校舎の備品等の引き取りについては、多くの町民、卒業生の皆さんに訪れていただき、記念となるようなものや有効活用いただけるものをお引き取りいただき、思い出も繋がれて大変良かった。さらに泉陽中学校の体育館に設置をしていたグランドピアノを文化会館ホワイエに移設した。自由に弾いていただけるストリートピアノという形で今後の活用を図っていきたい。

本日は、令和5年度の森町の教育についてそれぞれ担当課から報告をする。また森町地域クラブ活動の推進について経過を報告するのでよろしくお願いする。

教育長 令和5年度も残すところあと1ヶ月余りとなった。ここまで順調に業務が推移できたこと感謝する。

5月にコロナが5類に移行し、日常が戻ってきたと思っていたところに6月の台風による被害があり、児童生徒の通学に大きな影響を与えた。現在は何とか落ち着いて学校生活を送れているが、それを除けばほぼ順調な1年であった。ただ、インフルエンザが猛威を振るっており、一部の学校で学級閉鎖を行っているため、感染対策の徹底を各学校、園に指示をしている。

先程、町長からお話があったが、部活動地域移行について、今週月曜日に森町地域クラブ活動推進協議会が立ち上がり、昨日は西部地区の社会教育委員研修会があり、オリンピックの陸上で6位入賞された法政大学の杉本教授にドイツからオンラインで講演をしていただいた。大変良いお話で今後の地域クラブ移行へ生かしていきたい。冒頭に申し上げたが、いよいよ3月を迎えるため、今年度の締めくくりをきちんとしていきたい。

学校教育課長 議事進行を町長に願います。

町長 議事(1)令和5年度森町の教育について、事務局から説明をお願いします。

健康こども課長 資料のとおり説明。

学校教育課長 資料のとおり説明。

社会教育課長 資料のとおり説明。

町長 健康こども課、学校教育課、社会教育課からの説明について質問等あるか。

村松委員 今年度の様々な事業を実施して、それによる結果や成果が見えると良い。健康こども課であれば、教員の校内研修を実施したとあるが、どのような研修であったか、それによって教員がどのように変わり、今目指しているものに対して子供へどういう影響があったかということをもっとPRしていくことも必要だと思う。前回の総合教育会議で幼稚園の人数が減少することで様々な問題があると投げかけてきたが、それに対してどうなのかということを知りたい。学校教育についても、なかなか数字で評価するのは難しいが、英語教育推進事業の中で英検を実施した等をもう少し具体的に示してもらえるとわかりやすい。また、社会教育課の生涯学習推進事業の中で各種学級開設とあるが、実際参加者はどのくらいいるのか。募集してもなかなか集まらないと聞くが。

社会教育課長 委託をしており、学校や幼稚園の参観会時などで開催をしている。

村松委員 参加者の負荷を少なくすることも必要であり、現状を見ながら変えていくことがあっても良いのでは。

町長 幼稚園の休園について、前回の総合教育会議から進捗等について報告できることがあれば健康こども課からお願いしたい。

健康こども課長 第1回総合教育会議において、各園の現状から、園児数が減少していく中で幼稚園の体制について検討していく時期にきていると説明した。その後、7月に一宮幼稚園で保護者アンケートを実施し、各園長や主任教諭との話し合いの中で今後どのように進めていけば良いか検討している。健康こども課でも子ど

も子育て会議の中で幼稚園の現状と課題、今後の計画について説明をしている。天方幼稚園については、休園について8月に保護者へ説明した。一宮幼稚園についても9月に保護者へ説明し、保護者や地域からの意見を頂いた。地区への説明についても10月から11月にかけて行った。

来年度3園体制となるが、飯田幼稚園についても人数がかなり少なくなっているため、早い段階で保護者への説明をしていきたい。また、公立幼稚園の全体的なあり方について、来年度に検討会を年4回ほどの開催を考えている。幼稚園の再編、最低基準の設定、認定こども園化を含めて公立幼稚園の方向性を決めていきたい。

佐藤委員 保護者への説明はそれぞれしたということだが、教員にとってもこれからの方向性が定まっていないうちで働くことは不安に感じていると思う。また新たに就職を考えた際に、森町のこれからの幼稚園がどうなるのか分からないから応募をためらってしまうことがないように、早く方向性を決めていただきたい。

町長 時間をかけなければいけない部分もあるため、方向性の示し方というのはなかなか難しい。新規採用について、その辺は考慮している。

続いて議事(2)森町地域クラブ活動の推進について、事務局から説明をお願いします。

社会教育課長 資料のとおり説明。

学校教育課長 資料のとおり説明。

町長 推進協議会はどのくらいのスパンで開催するのか。

社会教育課長 今年度はまず1回開催し、来年は3回程度予定している。次回の協議会は5月頃を予定している。

町長 移行スケジュール案に沿って進めていくということであるため、随時教育委員会や総合教育会議において報告をお願いします。

議事については、以上で終了となる。

学校教育課長 閉会